



校長
兒玉 秀郷

「よき祖先」となるための礎を築く

令和8年度のスタートから2か月近くが過ぎ、新緑の風が心地よい季節を迎えました。

さて、元日の南日本新聞の社説には、「グッド・アンセスター（よき祖先）」という言葉が紹介されていました。「未曾有の人口減少社会に入っていく将来の子孫にとって、私たちは『よき祖先』でありたい。そのための選択肢を見誤らないようにしたい」という内容でした。

「よき祖先」とは、

- ・長期的な視点で物事を考える
- ・自分たちだけでなく、未来の利益も守る
- ・今の便利さのために未来を犠牲にしない
- ・次の世代が引き継ぎやすい社会や環境を整える

こうした姿勢を指しています。

そして、「選択肢を見誤らないようにしたい」には、目先の利益や感情に流されず、将来の持続可能性を考えた判断をするという願いが込められています。

未来の人々に誇れる社会を残すために、私たち一人ひとりが適切な判断と行動を積み重ねていく。生徒の皆さんには、その礎を鹿工で築いてほしいと心から願っています。

入学式

4月8日(水)に、令和8年度第81回入学式が行われました。

満開の桜の花に祝福されるかのように、真新しい制服に身を包んだ322人の新入生が本校の門をくぐりました。

新入生は緊張した面持ちで体育館に入場しましたが、担任の呼名にしっかりと答え、これから始まる3年間の高校生活に向けて決意を新たにしました。保護者も頼もしく成長した新入生の晴れ姿を見て感慨深げでした。

1年1組の下一ノ宮 叶大さん(吉野東中卒)が新入生を代表して堂々と入学者宣誓を行い、鹿工の伝統を受け継ぎつつ新たな歴史を創造することを誓いました。

先輩方から力強いエールと校歌の紹介に背中を押され、力強く鹿工生活の第一歩を踏み出した素晴らしい入学式でした。



校長式辞



入学者宣誓



PTA 会長祝辞

生徒指導部より



こころはつくられる。 生徒指導部 永山 正利



平年の九州南部の梅雨入りは、5月30日頃。高校総体県予選も佳境を迎える時期と重なります。自分の求めてきた結果を掴むことができたか……。結果はともあれ、何かのために努力をしてきた経験は必ず未来を拓く力になるはず。このことは資格取得や進路実現でも同じです。あなた方が未来のなりたい自分のために、今を精一杯、頑張ってください。

さて、「いいかげんなことをしない生徒」であることは本校の目指す普遍的な生徒像ですが、特に今年度は、以下の重点目標を意識しながら、毎日の学校生活を自分の成長へ繋げるために大切に過ごしてください。

1 「やるべきときにやるべきことをきちんとやる」習慣づくり

モラルを磨き、ルールを理解し、何事にもきちんと取り組み、やり遂げる。自分の成長のために、やるべきことは山ほどあります。勉強や部活動などでの苦楽の経験は自分を育てるために必要なことです。

2 「安心・安全で居心地のよい」環境づくり

生徒全員が学級や部活動などの集団において、毎日を安心・安全に過ごせ、居心地がよいと感じられる環境をつくる。そのためには、多様性を認め、お互いに相手を思いやる気持ちが大切です。

3 「今、ここから始まる明るく幸せな」未来づくり

自分の成長、向上を目指して、今、ここでできる努力を妥協することなく継続し、進路目標、ひいては人生目標に対する主体的な行動を心がける。「未来の蕾で一杯の今」の過ごし方で、未来に咲く花の色も形も大きく変わります。

梅雨といえば、「紫陽花(アジサイ)」の花。赤や紫、青の花が場所によって、または同じ株の中でも混ざって咲いています。その色を決めるのは、根から吸収される「アルミニウム」だそうです。土壌の酸性度や根の状態でその吸収の割合は異なります。アルミニウムが吸収されると青みがかり、吸収されないと赤くなるそうです。

それは、人のこころも同じかもしれません。特に、幼少期から青少年期の若い心は、何をいつ、どのように吸収するかでまったく別のものに変化します。苦しいことを乗り越える経験を積めば、耐性が身につくし、イヤなことを避けてばかりいると、逃げるのが当たり前になります。

アジサイの花は、あなたたちのこころ。それを育てる土壌が家庭や学校、社会であり、私たち大人です。その接し方で、こころの色が決まっていきます。赤にしかなれない花では、かわいそうです。青にも、紫にも……。どんな色にもなれるようにいろいろなことを吸収して、自分自身で『こころの色』を決めてほしいと願っています。

そう考えると、家庭や学校、社会がなすべき役割は、はっきりしてきます。楽しさ、苦しさ、嬉しさ、悲しさ……。いろんな思いを経験できる場を与えること。何よりもまず、枯れないようにきちんと包むことです。自分を包んでくれる家庭や学校での居場所を大切に、将来、いろいろな色や形の花を咲かせてくれたら……。あなたたちは、世界にひとつだけの花なのだから。

ソフトボール部 全国選抜報告 電子機械系3年 小谷 真広(東谷山中出身)



私たちソフトボール部は、3月20日から高知県高知市で開催された全国高等学校男子ソフトボール選抜大会に出場しました。2回戦の徳山高等学校(山口)戦や3回戦の秩父農工科学高校(埼玉)戦では、自分達の攻撃から流れに乗ることができ、勝つことが出来ました。しかし、準々決勝の豊川高校(愛知)戦では、インターハイで敗れた相手だったので雪辱をと思い試合に臨みましたが、守備でのミスが続き、6-0で負けてしまいました。この悔しさをバネに日々努力を重ね、夏のインターハイへ出場できるように頑張っていきたいと思えます。

アーチェリー部 選抜出場報告 建築系3年 宮田 早雪(城西中出身)

私は3月26日から静岡県掛川市で行われた全国高等学校アーチェリー選抜大会に出場しました。私にとっては最後の、後輩にとっては初めての選抜大会となりました。私自身は2回目の出場だったこともあり落ち着いて射つことができ、予選を突破しました。続く決勝トーナメントでは逆転負けとなりましたが、昨年を上回る結果を残せたので自身の成長を感じることができました。男子競技に出場した1年生は残念ながら予選敗退となりました。この経験を糧に、来年この舞台で活躍して欲しいと思います。

最後に今大会に際してご支援、ご声援をいただきました同窓会をはじめ、全ての方々に感謝いたします。



ボクシング部 WB フェューチャーズカップ 2026 全国選抜大会報告 建設技術系3年 松下 莉子(伊敷中出身)



令和8年3月8日からタイ(バンコク)で開催されたWBフェューチャーズカップ2026へ日本代表として出場して参りました。参加選手は各大陸から参加しており、初戦は地元タイの選手との試合でした。強打が持ち味の選手に圧倒される場面もありましたが、何とか初戦を勝利し、2回戦へ進出しました。次戦はヨルダンの選手で、ポイントではリードしていましたが最終ラウンドで強打を受けてストップ。勝てた試合だけに、あと一步届かず悔しい気持ちでしたが、初めての国際大会の経験は今後活かせると思います。

帰国後、3月23日から山梨県で行われた全国選抜大会では、それらの経験も活かし無事優勝を収めることができました。会場へは同窓会の関東支部・中部支部の方々も来られ、激励していただきました。

今後も国際大会をはじめ、国内でも良い結果が出せるよう頑張っていきたいと思います。応援よろしくをお願いします。



生徒会会長
建築系 3年
増田 犀ナ
(長島中出身)

ようこそ鹿工へ

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。そして、鹿児島工業高校を選んでくださり、ありがとうございます。

鹿児島工業高校は、学問も部活動も何事にも全力で取り組む熱意あふれる学校です。これから始まる学校生活の中で、楽しいことだけではなく大変なことや悩むこともあると思います。頑張るときは全力で、楽しむときは思いきり、これからの学校生活が充実したものになるよう共に努力していきましょう。

これからの学校生活を皆さんと過ごせることを楽しみにしております。どうぞよろしくお願いいたします。



I類 1年1組
下一ノ宮 叶大
(吉野東中出身)

期待膨らむ鹿工生活

目標であった鹿児島工業高校に入学できて、大きな期待とさらなる目標を得ることができ、自分のレベルを上げることができる部活動や、勉強、そして資格取得などの自分が今まで見たことのない“やってみたい”が多くなり、自分の目標がさらに多くなったことを実感します。

これから得るものが将来の役に立つようにこの鹿工生活を充実したものにして、目標を達成していけるように頑張ります。

新入生オリエンテーション（1学年）

4月9日（木）の3・4限に、本校体育館にて、新入生オリエンテーションが行われました。儀式・集合、教務、生徒指導、進路指導、交通指導の各係の先生方が、鹿工生としての自覚や学校生活におけるルール、希望進路実現に向けて取り組むべきことなどを丁寧に説明されました。新入生はやや緊張した面持ちで、時にはメモを取りながら真剣に聞いていました。



生徒指導部講話



交通指導係講話

これから鹿児島工業高校の一員としての自覚をもち、充実した高校生活を送ってくださることを期待します。

部活動紹介（生徒会）

4月9日（木）の5・6校時、体育館メインアリーナで部活動紹介が行われました。

本校には、運動系22、文化系9の部活動と同好会が3団体あります。各部活動・同好会の代表生徒が新入部員獲得に向け、迫力ある実演や作品紹介、スライド等を使って詳しく説明しました。

当日は朝からオリエンテーションなどがあり、少し疲れた様子の新入生たちでしたが、各部・同好会の紹介が進むにつれ、興味津々な表情に変わっていききました。多くの生徒が部活動に入部し、先輩方と共に学校を盛り上げてほしいです。そして、青春の思い出をたくさん作ってください。



弓道部



ボクシング部



ラグビー部



吹奏楽部

新任の先生紹介

児玉 秀郷 先生 (校長)

明桜館高校から参りました児玉と申します。

創立118年の歴史と伝統を誇る鹿工に勤務できる喜びと責任の重さを感じています。新たな歴史の扉を開くため、職員・生徒の皆さんと一丸となって、全力を尽くす覚悟です。どうぞよろしくお願いたします。

徳永 則幸 先生 (国語)

期限付き講師として参りましたが、国語科の徳永則幸と申します。2年と3年を担当し、表現と2科目を通じて、2年生には3年生に向けて、3年生には進路実現に資する表現力の伸長を目指したいと思っております。基本的なことが中心になります。基礎知識を高め、応用を高める。その他、多岐にわたる知識を併せて、一緒に教養を高めたいと思っております。猫好きの60歳、お気軽にお声かけください。子どもたちのお声かけも大歓迎です。よろしくお願いたします。

田中 雄大 先生 (電子機械系)

顕娃高校から参りました田中雄大と申します。伝統のある鹿工に赴任できて非常にうれしく思います。生徒数の多さに驚いての毎日ですが早く環境に慣れ、生徒の皆様力になれるように精一杯頑張りますのでよろしくお願いたします。

田中 照近 先生 (情報技術系)

今年度から情報技術系で講師として1年ぶりに勤務することになりました田中照近(たなかてるちか)です。本校勤務は4回目となり通算15年目になります。元氣な挨拶の鹿工生と一緒に勉強できるのを楽しんでいます。よろしくお願いたします。

松山 直史 先生 (事務)

川薩清修館高校から参りました事務の松山と申します。

歴史と伝統ある鹿工で勤務できることを嬉しく思います。礼儀正しい鹿工生に負けないように、自分も丁寧かつ明朗な対応を心掛けます。

よろしくお願いたします。

前村 昭人 先生 (副校長)

加治木工業高校から赴任し、7年ぶりに鹿工へ戻ってまいりました。歴史と伝統ある本校で再び働けることを誇りに思っています。新たな職務ですが、生徒や職員の皆様と共に学校発展のために尽力いたします。よろしくお願いたします。

松野 和成 先生 (数学)

数学科に赴任してきました松野和成です。数学が嫌いな人が一人でもいいので『数学って意外と楽しいんだ』と思ってもらえるように頑張っていきます。私は学校の近くに住んでおり学校行事や部活動に励んでいる工業生の姿を見てきました。私もその輪の中に加わり一緒に学校生活を送ればとワクワクしています。

羽嶋 誠一郎 先生 (電気技術系)

加治木工業高校から赴任しました。24年ぶりに伝統校である本校へ帰ってこられたことを心より感謝しています。電気技術系の職員としては資格取得に尽力、部活動では柔道部を盛り上げ全国大会にいけないよう頑張りたいと思います。今後ともよろしくお願いたします。

本吉 良風 先生 (建築系)

新規採用の本吉良風(らふ)と申します。昨年度は川内商工高等学校にて期限付き教員として勤務しておりました。それ以前はデザイン会社にて、3DCGデザイナーとして業務に従事しておりました。そこで培った技術や経験を、生徒の将来につながる力として還元していきたいと考えております。

一人ひとりの可能性を大切にしながら、日々指導に真摯に取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いたします。

末吉 輝美 先生 (地歴公民)

非常勤で歴史総合を担当します。ここ前は予備校で教えていました。鹿工は公立県内一の生徒数と新しい6階建ての校舎に驚かされました。みなさん悔いの残らない3年間を過ごしてください。その一助となれば幸いです。成功の秘訣はいつでも「素直に謙虚に」の心掛けです。

飯田 考俊 先生 (教頭)

このたび、教頭として赴任しました。生徒一人一人の成長を大切にし、ものづくりの楽しさと確かな技術を育てていけるよう支援していきます。また、地域の方々に信頼され、応援してもらえる学校にできるよう尽力しますので、よろしくお願いたします。

萩原 竜一 先生 (理科)

川内商工高校から参りました。出身が小野町で、本校周辺は懐かしい場所です。護国神社の六月灯など思い出されます。生徒の皆さんの元氣な挨拶・礼儀正しさに触れて素晴らしい学校だなと思っています。夢いっぱいの方々と充実した毎日を過ごしたいと思っています。

西島 巧人 先生 (電気技術系)

電気技術系に期限付き新規採用として着任しました西島です。昨年度の3月に第一工科大学を卒業しました。生徒と年齢が近いことを強みに親しみやすい関係を大切にしながら、気軽に相談できる存在を目指して頑張ります。

よろしくおねがいします。

郡山 剛 先生 (建設技術系)

22年ぶり2回目の配属となります。加治木工業高校から赴任しましたC系の郡山です。本校は私の初任校で、初めて教壇に立った、担任として卒業生を送り出した教職の原点と言える学校です。初心に戻って頑張っていきたいと思っています。よろしくお願いたします。

川畑 紗織 先生 (美術)

加世田高校から赴任しました。美術の川畑紗織です。非常勤で週3日の勤務ですが“美術で真剣に遊ぶ”を motto に皆さんと学べることを楽しみにしています。

どうぞよろしくお願いたします。

佐藤 さおり 先生 (国語)

加治木工業高校から参りました佐藤です。

学業に部活動に資格取得など「高校生の今しかできない」ことに全力を傾け、充実した高校生活を送っているみなさんの姿。私たち大人からみれば、懐かしくもあり眩しくもあります。微力ですが、私もみなさんの力になりたいと考えています。どうぞよろしくお願いたします。

山田 恵 先生 (英語)

種子島高校から赴任してまいりました。

歴史と伝統ある鹿工で、皆さんと一緒に学び合える喜びで一杯です。

校訓の精進・創造・誠実を体現するような皆さんとのこれからの毎日がとても楽しみです。早く鹿工の環境に慣れて、皆さんの学校生活のサポートができるよう、一生懸命努めたいと思っています。どうぞよろしくお願いたします。

平原 貴仁 先生 (電気技術系)

入学式で校歌紹介がありました。狼煙のような太鼓の響きにあわせて生徒会・野球部・寮生が入学生・保護者を囲み、包むように校歌斉唱で声高らかに歓迎する姿に圧倒されました。そして鹿工卒業生の先生方が生徒たちと共に「ふつうに」校歌を歌う姿に「伝統」の意気を感じました。この感動が褪せないように「いいかげんなことをしない」生徒たちと関わりたいと思います。

家村 怜臣 先生 (インテリア系)

インテリア系の家村怜臣(いえむられお)と申します。母校である鹿児島工業高校で新規採用教員として、勤務できることを大変うれしく思います。学生時代に学んだ経験を生かし、生徒一人一人に寄り添いながら、成長を支えていきたいと考えています。どうぞよろしくお願いたします。

原 太志 先生 (国語)

新規採用で赴任いたしました国語科の原太志(はらたし)と申します。昨年度までは徳之島高校で、期限付きとして勤務しておりました。これまでの期限付き教諭として経験を活かしながら、生徒の皆さんの進路実現に向けて精一杯頑張ります。よろしくお願いたします。

七夕 奈都美 先生 (英語)

英語科の七夕 奈都美と申します。1年生と3年生の英語の授業を担当します。鹿工生の明るく元氣な挨拶のおかげで、毎日楽しく過ごすことができている。文武両道で頑張る皆さんのサポートができるよう頑張りますので、よろしくお願いたします。

嶽崎 明夫 先生 (情報技術系)

顕娃高校から異動してきました。情報技術系の嶽崎(たけざき)です。7年ぶりの鹿工勤務となります。鹿工生と「ものづくり」ができることを楽しみにしています。皆さんの高校生活をサポートできるように頑張りたいと思います。よろしくお願いたします。

丸野 あずさ 先生 (インテリア系)

単工業高校から、5年ぶりに戻ってまいりました。私は、手を動かして、いろいろなものを作るのが大好きです。実習では、生徒の皆さんと楽しみながら作品制作をしていきたいです。どうぞよろしくお願いたします。



6・7月の主な行事

- 6月5日(金) 高校生ものづくりコンテスト県大会 (旋盤・電気工事・木材加工)
- 6日(土) 高校生ものづくりコンテスト県大会
- 12日(金) 高校生ものづくりコンテスト県大会 (溶接)
- 23日(火)～26日(金) 期末考査

- 7月1日(水) 求人票受付開始
- 4日(土) 同窓会総会・懇親会
- 15日(水)～16日(木) クラスマッチ
- 17日(金) 終業式
- 28日(火) 中学生日帰り体験入学